

議会報告会報告書

開催日時	平成25年4月 27日(土) 午後 2時 00分～ 3時 30分	
開催場所	ヴェルクよこすか	
出席議員	代表者	山口道夫
	司会者	岩崎絵美
	報告者	矢島真知子、一柳洋、角井基、松岡和行、伊藤順一
	閉会	上地克明
	記録者	渡辺光一
参加人数	22名	
報告内容	(質問・回答)	
	Q	下水道事業が資金不足となった原因は？
	A	水道使用量が当初の見込みより、毎年減っている為、資金が無くなってきている。小児医療費の税負担や、国民健康保険や消費税等、負担増で国民生活は厳しい。今後、少子高齢化に伴う人件費や、高齢者住宅の確保など、予算を長期的に検討すべきではないか。
	Q	小児医療費はお子さんの居ないご家庭にとっては疑問の声もおありでしょうが、定住人口を増やす為、子育て環境を充実させる必要がある。国民健康保険料は、近隣他都市が毎年値上げしているのに対し、本市は平成18年から値上げをしておらず、一般会計からの繰り入れによって賄っていた。しかし、これ以上の繰り入れは難しいため適正な料金改定の必要性がある。仰る通り、目先の事ではなく、中長期の財政計画を立てることは大事であると思う。
	A	さまざまな使い道が示されているが、これらは原資はどうなっているのか？内訳が示されておらず、原資と比較して妥当なのかわかりづらい。例えば市民一人あたりいくら借金を背負っているのか？
	Q	財政の中身は自主財源(市民税、法人税、使用料、手数料等)55.4%、その他は依存財源(交付金等)横須賀市基本計画の中で示され、実施計画を作り事業は進められている。既定の額を収めて頂いているかも大きくかわってくるが、市税納入率は未納額も毎年あり、財源確保に不足がある。滞納対策も力を入れる努力をしている。
	A	滞納者への具体的な対策は？また国保の増額根拠は？一般会計からの繰り入れを防ぐため2ケタ増となってしまったのか？
	Q	納税対策についてセクションを設け、督促のプロを招いて取り組むようになった。
	A	災害時避難所のトイレは洋式がいいのでは？
	Q	防災論議をきっかけに洋式に変えていく方向になった。今後、市としてはトイレは洋式に、といった大方針が決定した。
A	市長提案の予算に修正があった場合、議会だよりで詳細についての記載が必要では？また、理事者が十分に説明できないような場合、議会が人事に関して意見を言うことは可能か？	
Q	議会だよりは年に1回しか発行しておらず、将来的には年4回発行することを検討中であり、その中で議会での具体的な審査内容を載せる予定。また議会報告会の内容や、予算決算についても掲載する予定。人事権は市長の専権事項であるが、副市長や教育長、代表監査等は議会の承認が必要である。その他の一般職員の人事に関しては議会には権限がない。	
A		

(意見・要望等)

報告内容

Q ソレイユの収益は上がっているのか？

A 年間4億円を市が出資して指定管理者制度になっている。駐車場料金のみで収益は問題とはしない。

Q 議会報告会に手話通訳者など障がいを持った方への配慮を希望する。

A 貴重なご意見として承ります。

Q 障がい者教育を取り入れ、年代にあった講義を導入してほしい。

A 議会が教育に介入するのは困難であるが、ご意見は教育委員会に届け、検討します。

横須賀市議会議長 様

平成25年5月10日

上記のとおり報告します。

代表者 山口 道夫